

のし

HIROSHIMA



2016(上)

表紙

Wine Vase

落田 克二

今年のボジョレーヌーボーは、うまかった。ワイン好きの私の作品には、ワインボトルをモチーフにした作品が多いのはそのせいか。何色も色を塗り重ねて一枚の木版画が出来ます。実に面白い。

◆ギャラリィ 今泉 質

大島 邦夫
清水文貴子

ペ

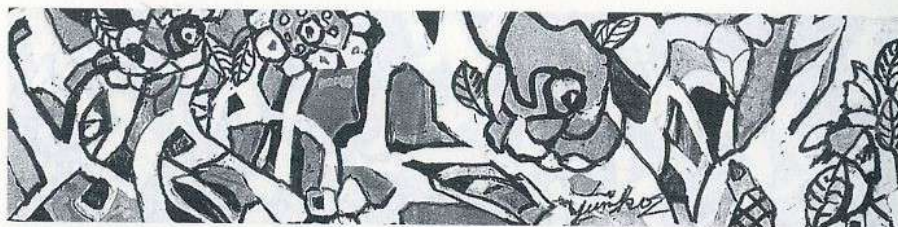
ン

HIROSHIMA

2016(上)



広島ペンクラブ

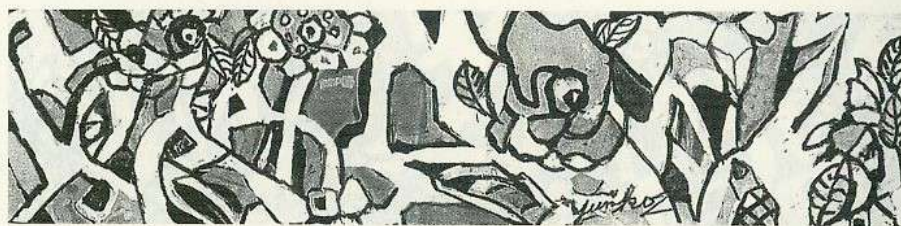


《目次》

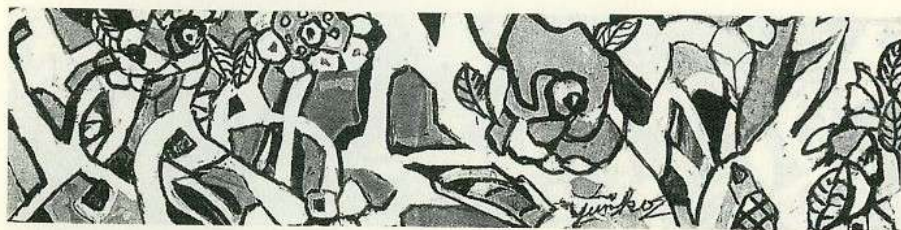
前田 和美……………易(カワル)……………	13
舛井 寛一……………回想 原田東岷会長……………	14
舛田 嘉之……………言葉の誤用にご用心……………	15
松村 誠……………六十五の手習い……………	16
松本 忠之……………日米安全保障条約……………	17
松本 洋二……………少年、気を失う……………	18
丸子ようこ……………熊野に行くなら……………	19
三上寿磨子……………花眼・半眼で生きたい……………	20
務中 昌己……………軽さと仕合せ……………	21
山口 隆子……………パワースポット巡りて……………	22
山下 江……………生物学的寿命の半分を生き抜いて2 父の笑顔(1)……………	23
山本 修……………深溝物語(その四)……………	24
山本 光珠……………文様……………	25
吉中 康磨……………天皇皇后両陛下のご訪問……………	26
吉村 良哉……………ご対面 黄瀛さんと米田栄作さん……………	27
板倉 昭子…………… 遺稿 みんなちがってみんないい……………	28
赤松 和彦……………戦後七十年 父の思い出……………	29
足立 柳子……………音を失う……………	30
有田 博司……………グリーン車……………	31



梶川 咸子	洞上げ	52
梶矢 文昭	蝶の話	51
山本 紅	特別寄稿 冬瓜	50
垣花八洋夫	特別寄稿 アホウドリ	49
寛 義之	残んの雪	48
小野 文孝	懐かしき演歌	47
沖野 恵子	食べることは生きる事	46
沖川 恭子	黄昏の町に哀愁の音色が流れる	45
小笠 邦久	硫黄島(その七)	44
大谷美奈子	結婚式	43
大谷 育平	宰相の教養 ③温家宝	42
大島 邦夫	人はどんな時でも夢がある	41
袁 葉	異国の月	40
江川 政昭	箱根の美術館を訪ねて	39
今田 鷗蹕	被爆七十年の広島	38
今泉ただし	遊郭のこと	37
井上 哲一	一筆の趣	36
稲田 公子	挿花	35
伊藤 秀輔	人間とは何という	34
石崎 文子	夢の変遷と実現	33
石井 康隆	父の顔	32



亀井 一夫	雨ニモ負ケ、風ニモ負ケ	53
北川 建次	大陸国家・半島国家・島嶼国家	54
切明千枝子	佐藤春夫の涙	55
久保田靖子	学ぶ	56
久村 敬夫	半歩前進、一步後退	57
桑原美紀子	私はステッキガール?	58
児玉 光禎	病院の夕空に花火	59
坂本 善子	おとこ? おんな?	60
迫田 勝明	これからの広島	61
生和 秀敏	木曾駒ヶ岳の遭難記念碑	62
世木田寛子	ふうずき	63
高崎 宗利	節目の思い出と裏話(その二)	64
	ご視察での天皇陛下のご記憶とご配慮	64
太刀川 類	稗田阿礼の推理小説『古事記』解決編(オノコロ島)	65
田中 泉	S君との再会	66
田中 康夫	夏深む	67
玉置 和弘	鯉城にまつわる歴史、そして生まれたカープ	68
玉井田 泰	マスコミの偏向を糾す(七)	69
夏目 康文	健康気功太極拳と生きる	70
難波 紘二	飯島先生(その十二「特攻で死んだ親友」)	71
新川 貞之	父をかえせ 母をかえせ 峠三吉さん	72



新本 稔	夏の重なる思い出	73
西村 哲郎	レーシー・レデイ	74
新田 和雄	憲法イノベーション	75
馬耳 爽風	「縄文倭人の曙」(3) 韓半島に縄文倭人の足跡	76
長谷川是求	是求柳壇	77
	— 広島赤十字・原爆病院血液内科の日々 —	77
花井 隆爾	福山・神辺	78
加田 佳子	清潔志向	79
渡上 尚	冷たい風が通り過ぎた暑い夏(四)	80
福田 康彦	「下戸」に愛と理解を	81
上田由美子	自在な色	82
富沢 佐一	日常の瑣事	83
森田 繁昌	文学青年はどこに	84
渡辺 玲子	ホシヅルの日に	85
梶 杏子	山椒魚	86
	ペンの旅	87
	運営委員会だより	88
	編集人記	92
	次号原稿の案内	93
	広島ペンクラブ規約	94